

計測制御分野で最新のシステムを提供する

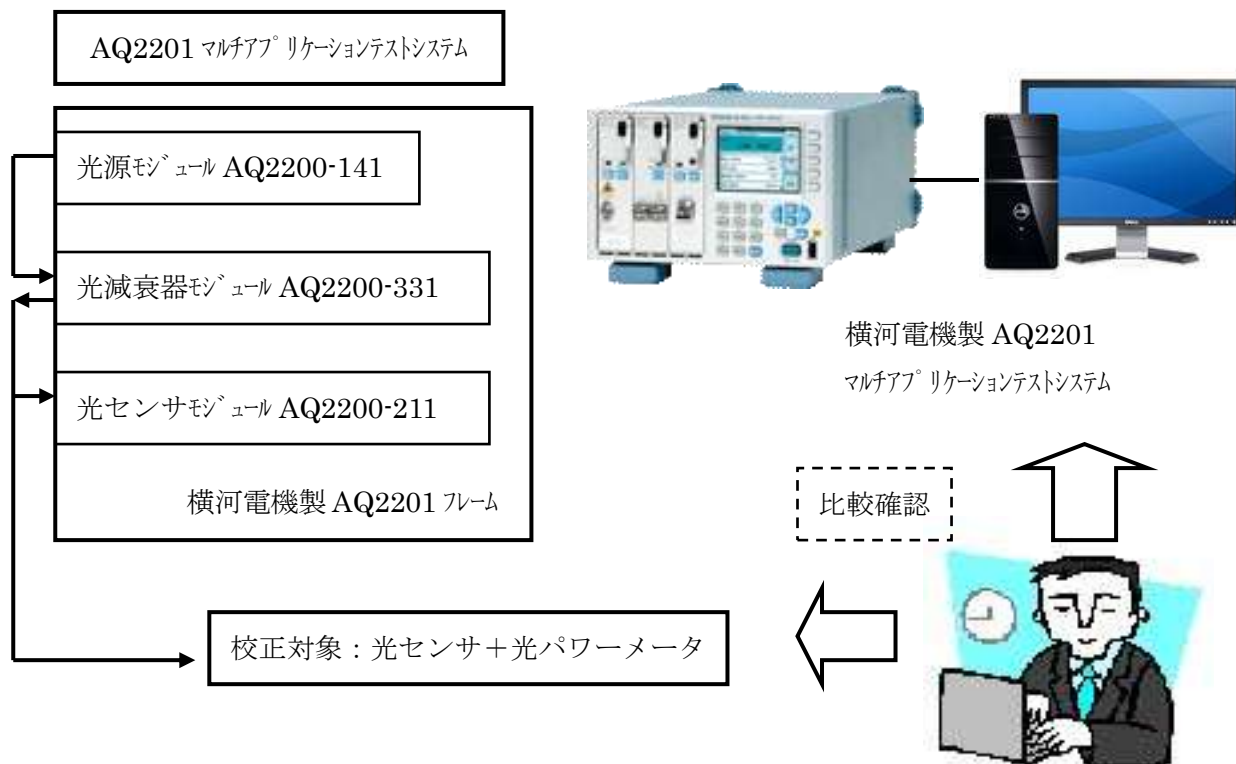
ハビリス納入事例紹介

光パワーメータ校正試験システム

LD（レーザーダイオードモジュール）を光源として手軽に使用できるようになった光技術は、通信用をはじめ医療、原子力、加工等、幅広い分野で使用されています。電気計測分野での電圧計に相当する光パワーメータも各社の製品が発売されています。光パワーメータの校正に関する公的な機関は(財)日本品質保証機構：JQAで実施しております。

当事例は光ケーブルを製造する企業において、製品の品質保持のために製造現場で使用するパワーメータの校正を横河電機㈱の「AQ2201」マルチアプリケーションテストシステムとパソコンを使用して行なっているものです。従来は標準光パワーメータ、LD光源、光減衰器を組み合わせで試験していたので、大幅な小型化とコストダウンが図れました。

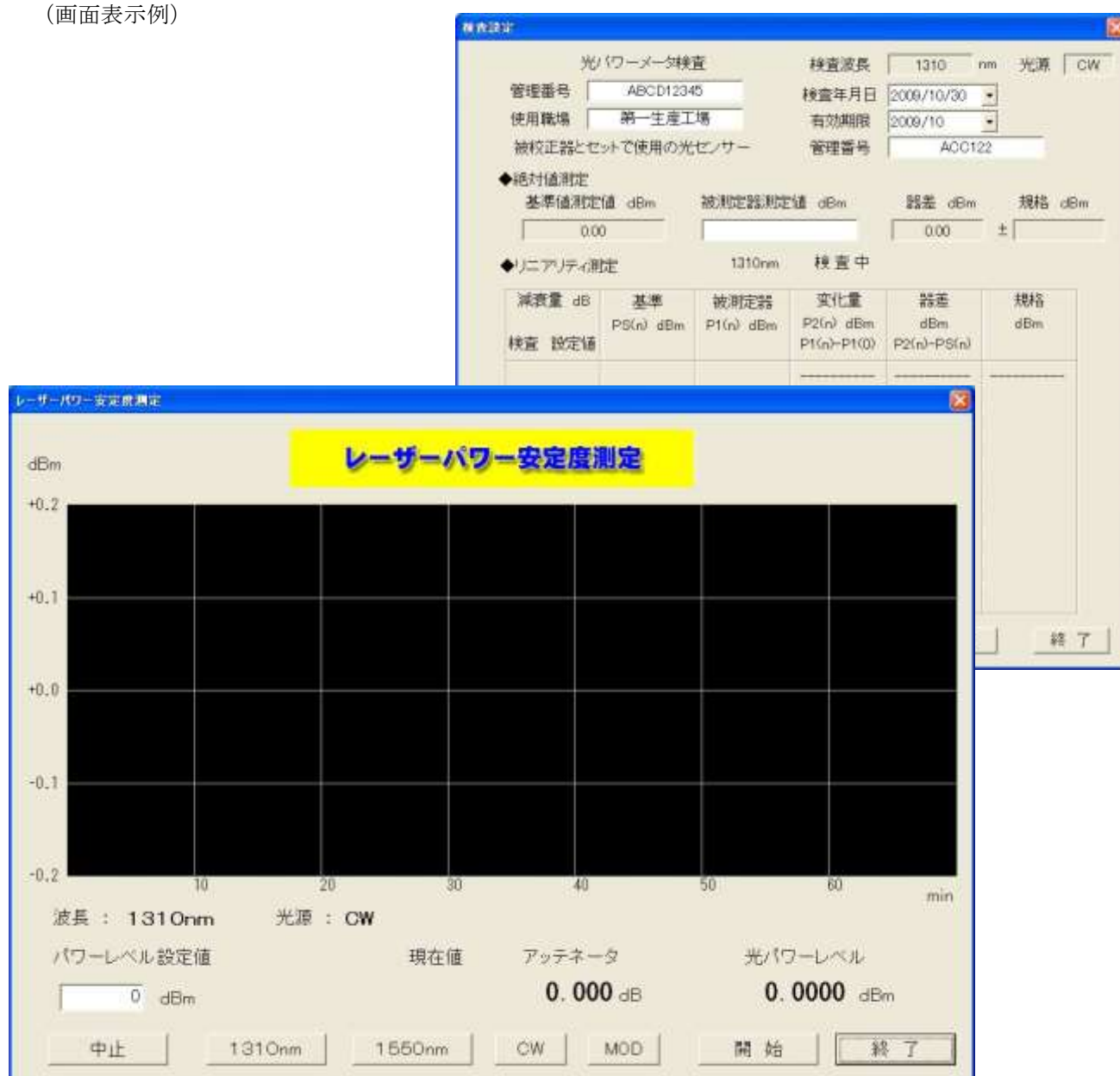
(1)システム概要



「システムの概要」

- (1) 当システムは、光ケーブルの製造工程でケーブルの特性を確認するために多数使用している光パワーメータの校正用に使用しているものであり、横河電機㈱の光デバイス用マルチアプリケーションテストシステム「AQ2201」とパソコンを使用して、光パワーの測定値と任意の減衰量による直線性を計測し、同時に光減衰モジュールから分岐してある被構成機器：光パワーメータに表示される測定値が正確かどうかの判定を行い、試験成績書を印刷します。
- (2) LD光源モジュールは1310／1550nmの2種類を切り替えて使用し、減衰量を変化させて直線性の確認を行ない、最終的にはEXCEL表による試験成績書を作成して管理番号ごとの校正履歴を参照できるようにしております。当社ではこの他に、電圧計、温度計、圧力計等の校正システムや温度発生器やデジタルマルチメータを組み合わせた温度センサ検定システム作成しております。

(画面表示例)



お問い合わせ先

株式会社ハビリス システム営業部

URL: <http://www.habilis.co.jp>

〒108-0014 東京都港区芝4-7-1 西山ビル

Tel : 03-3769-6291 Fax : 03-3769-6285